

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

はちおうじっ子
マイファイル



発達障害等、特別な支援を必要とする子どもへの支援については、関係支援機関等が子供の情報を共有し、ライフステージの進展に応じた切れ目ない支援を行うための環境づくりが課題となっていた。こうした状況を踏まえ、障害の有無を問わず誰もが乳幼児期から就学・進学・就労などの節目で困ることのないよう、子どもの成長や発達に関する資料を1つのファイルに保存し、必要に応じて保護者や本人が、支援機関等へ提供することで、一人一人の特性に応じた切れ目ない支援を行うために、「はちおうじっ子マイファイル事業」を実施する。



成果

①得られた成果

マイファイルを軸とした切れ目ない支援について、その体制整備の推進を図ることで、福祉における受給者証のスムーズな発行や医療機関での情報共有につながった。また、本取組について、市民への認知度や教員の意識を高めることができた。

②成果を踏まえた今後の取組など

今後はマイファイルについて、関係機関での活用や医療機関でのさらなる有効活用を進める。また、サポートファイルを運用する学校の拡充を行い、これまで以上に体制の充実を図る。

事業内容

【障害者福祉課】

・障害者相談先パンフレットの作成(14,000部)

【保健福祉センター】

・母子健康手帳の別冊として、関係機関の支援記録やケアプランが共有できる八王子版ネウボラ乳幼児手帳の作成
・「はちおうじっ子マイファイル」の製作(9,576冊配布)

【子どものしあわせ課】

・マイファイルのサポート機能としてモバイルサイトに成長記録を導入(利用者数:約1,300人)

・就学支援シートの活用(小学校新生生の利用率:13.8%)
・保・幼・小連携に係る講演会(3回(年1回)、延べ参加人数:483人)

【教育支援課】

・特別支援教育ハンドブックの作成(4300冊)
・小・中学校におけるマイファイルのバックアップを目的としたサポートファイルの運用(34校)
・市民啓発のための特別支援教育地域講座の開催(6回)

◆庁内連携のための検討委員会の設置(10回)
本事業の適切な運用を図るため、関係所管による横断的な意見交換や課題を検討。

